

令和4年度 第1回（確定稿） 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日 時：令和4年5月10日（火）18時00分～

■会 場：オンライン（Zoom）

○令和4年度 西東京市社会福祉協議会 事務局体制について

1. 報 告 事 項

- (1) 業務報告（令和4年3月・4月）について【資料1、2、3】
 - ・登録ボランティア懇談会について【資料4】
- (2) 令和3年度 西東京ボランティア・市民活動センター事業報告について
 - ・事業報告 【資料5】
 - ・決算報告 ＊事業費支出、事務費支出のみ抜粋【資料6】
 - ・気球くんプラン取り組み状況【資料7】
- (3) 令和4年度 西東京ボランティア・市民活動センター事業について
 - ・事業計画 【資料8】
 - ・事業予算 【資料9】
 - ・年間予定 【資料10】
- (4) 業務予定（令和4年5月・6月）について【資料11】

○事務局より、(1)～(4)について資料を用い説明を行った。

【委員長】 報告について何か意見はあるか。

【副委員長】 【資料4】登録ボランティア懇談会についてだが、運営委員の中で参加された方はいるのか。

【事務局】 残念ながらいなかった。

【副委員長】 今年度から、この委員会の委員になられる校長より良い話をいただいたとのこと、講義内容について話してもらえれば委員の参考になるのではないかと。

【事務局】 障がいのある児童の校内での見守りボランティアの依頼があり、ボランティアを紹介した。ボランティア活動によってもたらされた効果は、障害のある児童だけでなく、その他の児童や教員、ボランティア自身の成長にもつながったと話されていた。

【委員】 【資料3】小・中学生の居場所について、どのような人に声掛けをしているのか。また反応はどうか。

【事務局】 このような活動に興味のある登録ボランティアや、登録はしていないがボランティアに興味のある人に見てもらえるようにホームページにも載せている。反応については、団体に直接問い合わせが行くようになっているので確認する。

【事務局】 【資料5】「ボランティアって、なあに？」については2名の委員に意見をもらい、作業を進め完成した。感想をうかがいたい。

【副委員長】 意見をまとめて、分かりやすく仕上がっている。

- 【委員】子どもの目線で見ると、チャート式になっているところが分かりやすくて良い。
- 【委員】見やすく、分かりやすくて良い。手に取った時の紙質もしっかりとしていて良い。
- 【委員】小・中学校に配布し、どのように活用してもらえるのか。子どもたちに反映されると良い。
- 【事務局】福祉教育で活かされると良いと考えている。
- 【委員】色も落ち着いて見やすい。漫画に番号がなく順番が分からなかったが、意味は分かるようになってい
る。ボランティアのはじめ方は「ボランティアセンターに相談する」と理解して良いか。
- 【事務局】ボランティアセンターに相談して欲しいというところがポイントとなっている。
- 【委員】小・中学生が読むことを考えたとき、自分たちと年が近いキャラクターが出てくると、自分たちのこと
だと思ってもらえる。ボランティアを知ってもらえると思うが、すぐに活動してみようとなるのかは、この
「ボランティアって、なあに？」を使っただけの伝え方ではないか。
- 【理事】委員の皆さんが話されていることに同感である。これをうまく使えば「夏！体験ボランティア」につな
がるのではないか。短い時間で構わないので児童館などで説明会を開くと良いのではないか。
- 【委員長】ボランティアを始める動機付けとして、困っている人を助けたとき、「ありがとう。」と喜んでもらえたこ
とが嬉しかった。「もっとやってみたいな。」と思ってもらえるスタートになるのではないか。
- 【事務局】今後の参考にさせていただく。
- 【委員】【資料7】広報事業で SNS の活用については難しい部分があると思うが、現状を教えて欲しい。
- 【事務局】西東京社協では Facebook と Twitter で社協のお知らせを発信している。課題としては SNS の
相互性の部分が活かされていない。活用するにはガイドラインの検討が必要である。
- 【副委員長】【資料7】財源確保事業の中で募金額の減少傾向とあるが、コロナ禍の影響があったのか。
- 【事務局】コロナ禍も減少の一因であるが、募金や会費などは以前から年々減少してきている。
- 【副委員長】自己財源は活動していく上でとても大切である。他社協でも減少傾向にあるのか。
- 【事務局】西東京社協のアクションプランの中でも地道な取り組みをしている。周知していきたい。今年度の取
り組みとしてファンドレイジングで社協会費を集めている。他社協については分かりかねるが、減少
傾向にあるのは否めない。地域にもよるが、自治会が積極的に集めてくる下町などは西東京市ほど
の減少はないのかもしれない。
- 【理事】財源確保の中に入れ歯の回収とあるが、回収ボックスはどこにあるのか。
- 【事務局】田無総合福祉センター1階のエレベーター前にある。
- 【理事】金属の値段が上がっているのも、目につかない場所にあると盗まれてしまう危険はないのか。また、
換金するには、現在が良いタイミングだがどうか。
- 【事務局】入れ歯リサイクル協会の回収ボックスで、鍵もついたしっかりとした作りである。換金については、回
収の時期が決まっているため難しい。
- 【委員】場所を知っている人にとっては、目立つ場所で入れにくい。受付から見ることができ、目立たない場
所であれば理想的である。
- 【委員長】【資料7】気球くんプランは18項目もあり、当初は進めていくための勢いがあったが、コロナ禍でうま
くいかない状況になった。その中で、できることを着実に取り組んでいることが報告で分かった。今
後どのようにしていくか検討していきたい。

2. 審 議 事 項

(1) 令和3年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について【資料12】

3. 協 議 事 項

(1) 「夏!体験ボランティア西東京 2022」について【資料13】

【事 務 局】 昨年度同様に行っていく。5月中旬から受け入れ先に依頼文書を送付し回答をもらう。6月に広報、7月からホームページ上で情報を公開する。7月4日から受付を開始し7月26日から活動を予定している。プログラムについては従来通りの体験型と昨年取り入れた、おうちで出来るボランティアの2通りで行う予定である。受け入れ施設でもある委員の意見を聞きたい。

【委 員】 施設の入り口で季節の飾り付けを行っているが、毎年同じもので代わり映えがしない。折り紙などで季節が感じられる飾りを提供してもらえると利用者も喜ぶ。5月の依頼の際に去年の作品などを見てもらうと受け取る側もイメージが湧くのではないかな。

【委 員】 体験型の受け入れは感染状況次第だが、少しずつ体制が整ってきている。おうちで出来るボランティアについては、折り紙などをいただければ子どもたちも喜ぶし、保護者や職員も作ってみたいかなのではないかな。作り方を教えてもらえると良い。

【委 員】 折り紙に限らず、手作りカレンダーや貼り絵、ぬり絵などは、小・中学校で配布する「ボランティアって、なあに?」にあるように、子どもたちの特技を活かすことができ、作品は掲示することができる。子どもたちが作ったかわいいカレンダーなどは部屋にも飾れ、喜ばれる。

【委 員 長】 自分が作ったものを発表する場にもなり、誰かの役にもたち、喜んでもらえるという循環ができるのは良い。

【事 務 局】 いただいた意見を参考に行っていきたい

4. そ の 他

(1) 次回 運営委員会日程について

■日時:7月12日(火) 18:00~

■会場:オンライン(Zoom)

資料 1: 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和4年3月・4月)
資料 2: 令和3年度 コーディネート状況等 月次報告表
資料 3: ボランティアコーディネート実績表(令和4年3月)
資料 4: 令和3年度登録ボランティア懇談会報告
資料 5: 令和3年度 ボランティア・市民活動センター事業報告
資料 6: 令和3年度西東京ボランティア市民活動センター決算報告
資料 7: 令和3年度 気球くんプラン取り組み状況
資料 8: 令和4年度 福祉活動推進課 事業計画 地域福祉推進係:ボランティア・市民活動センター事業
資料 9: 令和4年度 ボランティア・市民活動推進事業 事業費積算
資料10: ボランティア・市民活動推進事業 令和4年度 年間スケジュール
資料11: 西東京ボランティア・市民活動センター事業業務予定(令和4年5月・6月)
資料12: 令和3年度第6回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)
資料13: 夏!体験ボランティア 西東京2022 実施案

参考: 「ボランティアって、なあに?」(令和3年度 ボランティアのつどい)

参考: ぼらんていあ倶楽部 第118号

参考: 東村山防災まち歩き オンライン(チラシ)